Juggling Performer

結城敬介

13歳からジャグリングを始める。その3 年後、 Japan Juggling Festival チャンピオンシップにて銀賞を獲得。同年、コンテンポラリーダンスカンパニーMonochrome Circusの メンバーらと出会い、翌年2004年『収穫祭』にてゲストコーナーに出演。その後、ダンサーやミュージシャンらと多数共演し、ジャンルの垣根を越えてパフォーマンスを磨く。
高い難易度の技に音楽的な魅力を加えたパフォーマンスは、スリリングでありながら、観客をリラックスさせるユーモラスも兼ね備える。

2014年頃より自主企画『多夢多夢茶会』『あるばとろす』など公演の主催・演出や、『せんだいキッズジャグリングフェスティバル』等で、子供たちへのジャグリングの普及・指導の活動も行っている。

2019年より仙台から東京へ拠点を移し、両都市を往復しながら活動を続けている。

主な実績

Japan Juggling Festival チャンピオンシップ　銀賞
Monochrome Circus『収穫祭』ゲスト出演
DVD『匠』出演
イタリア コモ市『Otto giorni col Giappone』出演
Japan Juggling Festival チャンピオンシップ 審査委員・審査委員長着任
※2012～2016年
舞台『鴇頭森の子供たち』ジャグリング指導・振付
『せんだいキッズジャグリングフェスティバル』企画・演出・振付

大道芸フェスティバル
シネマ大道芸フェスティバル
とおがった大道芸フェスティバル
仙台大道芸 まちくるカーニバル
ヘブンアーティスト in TOKYO
さいたま新都心大道芸

※ジャグリング創作集団「空転軌道」として
三茶de大道芸
あつぎ国際大道芸
City of Wings Ypres（ベルギー）
Lenzburger Busking and Streetartfestival（スイス）
Lokeren Parktheater Festival（ベルギー）
Busan International Performing Art Festival（韓国）

パフォーマンスについて

パフォーマンスの種類は、環境によって若干の変化があります。
以下、3つの場合に分けて簡単にご説明いたします。
また、これらに当てはまらないご提案は別途ご相談くださいませ。

ステージ

商業施設や企業パーティー、その他ステージイベント等でのパフォーマンス形式です。時間は5分～30分。
テクニックと音楽の融和をじっくり楽しんで頂くメイン演目の”ディアボロルーティン”や、ボールとリングで行う、オフビートなユーモアが漂うパフォーマンスなど、イベントスケジュールやイベントの趣旨に応じて演目を選び分けます。
スタンダードなパフォーマンスでは、3~4種類の道具を、音楽に合わせてお届けします。

大道芸

各種お祭りなど主に屋外で、ご覧いただく形式です。
時間は30分～45分。簡易音響機材を持ち込みパフォーマンスを一人で完結させることも可能です。
メインの演目”ディアボロルーティン”のほか、お客さまとコミュニケーションを取りながら進める、水晶のようなボールを使ったコンタクトジャグリングや、指に糸をつけない”カウンターウェイト”スタイルのヨーヨーなどもお楽しみいただきます。

クロース・ジャグリング

レストランやカフェ、そのほか小規模なパーティーなど…ふだん間近で見ることができないジャグリングを、あえて小さく、親密な空間で行うスタイルです。
にぎやかな場所で通りがかりのお客さまの関心を引くために、手早く驚いてもらうプロセスがなくなるので、ゆったりと雰囲気も楽しみつつパフォーマンスをご覧いただけます。
催しの内容とご相談させていただきながら、10~20分を目安にパフォーマンスを構成致します。

マヤマ

2014年
「劇団どくんご いらっしゃいパーティー」
『多夢多夢茶会』
2015年
『多夢多夢茶会 春編』「寺フェス」出演
2016年
第一回まちくるパフォーマーズ仙台 ライセンス合格
2018年
『多夢多夢茶会 その六』
『あるばとろす vol.1』
2019年
「第2回 せんだいキッズジャグリングフェスティバル」

マルチインストゥルメンタルプレイヤー南部大地と結城敬介による、ジャグリングと音楽が混ざり合う「ノレる」パフォーマンスユニット”マヤマ”。
とぼけた味わいと攻めた実験精神を行き来する独自のステージは、ジャンルを越えて様々な表現者たちからも称賛の声が届く。

ユニットパフォーマンスについて

ユニットでの活動もご紹介いたします。
ミュージシャンとのコンビ、オリジナル道具を使うジャグリングチームなど、複数人ならではのパフォーマンスの広がりをご覧いただけます。

空転軌道

2015年
単独公演『D.E.』

2016年
第16回ヘブンアーティスト審査合格
浅草大道芸フェスティバル 出演
大道芸ワールドカップin静岡 フリンジ部門出演

2017年
ヘブンアーティストin 渋谷 出演
City of Wings Ypres（ベルギー）
Lenzburger Busking and Streetartfestival（スイス）
三茶de大道芸 出演

2018年
Lokeren Parktheater Festival（ベルギー）
Festimôme（フランス）
三茶de大道芸 出演
大道芸ワールドカップin静岡 オン部門 出演

2019年
高円寺びっくり大道芸
とよはしアートフェスティバル「大道芸inとよはし」
ひたち国際大道芸
Busan International Performing Arts Festival
アートタウンつくば大道芸フェスティバル
まつもと街なか大道芸

2015年にプロジャグラー小林智裕を中心に結成。
メンバー全員が国内外での受賞歴を持つ高いスキルと、独創的なジャグリングへのアプローチが評価され、ベルギー・スイス・フランスのパフォーマンスフェスティバルや、国内最大のパフォーマンスイベント「大道芸ワールドカップin静岡」にも出場。
世界で唯一のハンドベルとジャグリングを融合させた作品は、緊張感と共に温かい感動を与える。

パフォーマンスの様子

現在に至るまで、国内外の様々な場所でパフォーマンスを行ってきました。一例ではありますが、過去のパフォーマンス現場の写真をご覧ください。

大道芸の様子

WSの様子

ステージの様子

ジャグリングパフォーマンスはマイナーな娯楽ですが、それだけに企画やアイディア次第で、思いがけないおもしろさが広がる可能性を秘めていると思います。また、そうした可能性を高めるべく、ジャグリングパフォーマンスの次なるプレイヤー・観客を生むWSやイベントを企画しています。ジャグリングパフォーマンスが次のステップへ進むため、諸芸術・文化と交流できるご提案もお待ちしております。

イベントの様子

せんだいキッズジャグリングフェスティバル

HOGONOEXPO Live！Special

『あるばとろす vol.1』

WJD in Tohoku

複数の児童施設へ訪問指導し、成果発表会とWSを行った『せんだいキッズジャグリングフェスティバル』や、ジャグリング愛好家の交流が少なかった東北６県を巡回して開催した『WJD in Tohoku』などジャグリングシーンに関する企画のほか、異ジャンル同士をシームレスに繋げたオムニバス公演『HOGONOEXPO Live!Special』や『あるばとろすvol.1』の企画演出も行った。